

整理番号:IB-019-1

## 安全データ(SDS)

作成日:2023年02月01日

改訂日: 年 月 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称 :メラミン化粧板 イビボード ウイルヘル  
 製品コード :VM-, VMX-, VMY-, VMYX-, VMW-, VMWX  
 会社名 :イビケン株式会社  
 住所 :岐阜県大垣市青柳町300番地  
 担当部署 :建装事業部 品質保証部  
 電話番号 : (0584)-89-0527  
 FAX番号 : (0584)-89-5302  
 緊急連絡電話番号 : (0584)-89-0527

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 :GHS分類に該当しない  
 (本製品は「成形品」であり、SDSの作成が必要な「化学製品」には該当しない)  
 物理化学的危険性 :該当なし  
 健康に対する有害性 :該当なし  
 環境に対する有害性 :該当なし  
 危険有害情報 :該当なし  
 GHSラベル要素 絵表示 :該当なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :混合物  
 化学名又は一般名 :熱硬化性樹脂化粧板  
 成分及び含有量

| 成分         | 含有量(WT%)           |          |
|------------|--------------------|----------|
|            | VM、VMX<br>VMY、VMYX | VMW、VMWX |
| メラミン樹脂硬化物  | 6～11               | 33～40    |
| フェノール樹脂硬化物 | 19～27              | —        |
| パルプ繊維      | 59～78              | 50～65    |
| 酸化チタン(IV)  | 0.5～3              | 3～10     |

官報公示整理番号 :酸化チタン(VI) 【化審法】(1)-558 【労安法】191  
 CAS No. :酸化チタン(VI) 13463-67-7

## 4. 応急措置

目に入った場合 :加工時、取扱時に生じた微粉末が目に入った場合は、速やかに清浄な水でよく洗い流し、必要であれば医師の診断を受ける。  
 皮膚に付着した場合 :加工時、取扱時に生じた微粉末が皮膚に付着した場合は、石鹼と清浄な水でよく洗い流し、必要であれば医師の診断を受ける。  
 吸入した場合 :加工時、取扱時に生じた微粉末を吸入した場合は、清浄な水でうがいをし、必要であれば医師の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合 :加工時、取扱時に生じた微粉末を飲み込んだ場合は、清浄な水でうがいをし、必要であれば医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 :水、炭酸ガス、粉末、泡等の消火剤を使用する。  
 使ってはならない消火剤 :情報なし  
 特有の消化方法 :消火作業の際は必ず保護具を着用するとともに、風下の人を退避させる。

- 6. 漏出時の処置**  
 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 該当なし  
 環境に対する注意事項 : 該当なし  
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 該当なし
- 7. 取り扱い及び保管上の注意**  
 取り扱い : 保護具を着用し、加工時に飛散する微粉末を吸い込まないようにする。また端面は鋭利なため、手などにけがをしやすいので保護手袋を着用して取り扱う。衝撃破損に注意する。  
 保管 : 雨水に濡らしたり、直射日光にさらしたりすることは避け、常温常湿の屋内で水に濡れないように保管する。地面やコンクリート床面への直置きは避ける。
- 8. ばく露防止及び保護措置**  
 許容濃度 : 該当なし  
 日本産業衛生学会 : 酸化チタン(VI) 総粉塵 4mg/m<sup>3</sup> 吸入性粉塵1mg/m<sup>3</sup>(2種粉塵に分類)  
 ACGH : 酸化チタン(VI) 10mg/m<sup>3</sup>(TLV-TWA)  
 設備対策 : 加工時には粉塵が発生するため、局所排気装置を設置し、作業中は有効に作動させる。  
 保護具  
 吸引用保護具 : 防塵用マスク等を着用する。  
 眼・顔面の保護具 : 側板付普通眼鏡等を着用する。  
 手の保護具 : 軍手、布製手袋等を着用する。  
 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣等を着衣する。
- 9. 物理的及び科学的性質**  
 物理状態、色 : 板状成形体(個体)  
 臭い : ほぼ無臭  
 融点／凝固点 : 該当なし  
 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 該当なし  
 可燃性 : あり  
 爆発限界(上限、下限) : 情報なし  
 引火点 : 情報なし  
 自然発火点 : 情報なし  
 分解温度 : 情報なし  
 pH : 測定不能(本製品は水に不溶なため)  
 動粘性率 : 該当なし  
 溶解度(水) : 水に不溶  
 n-オクタノール／水分配係数(log値) : 情報なし  
 蒸気圧(mmHg) : 該当なし  
 密度及び/又は相対密度 : 約1.4(20℃)  
 相対ガス密度 : 情報なし  
 粒子特性 : 情報なし
- 10. 安定性及び反応性**  
 反応性 : 化学的に安定  
 化学的安定性 : 化学的に安定  
 危険有害性反応可能性 : 通常の保管・取扱においては無い  
 避けるべき条件 : 直射日光、水濡れ、強酸類及び強塩基類に注意する  
 混触危険物質 : 情報なし  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼条件によっては、危険有害な燃焼副生成物が発生する可能性がある

**11. 有害性情報**

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 急性毒性                 | : 知見なし |
| 皮膚腐食性／刺激性            | : 知見なし |
| 眼に対する重篤な損傷性<br>／眼刺激性 | : 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性        | : 情報なし |
| 生殖細胞変異原性             | : 情報なし |
| 発がん性                 | : 知見なし |
| 生殖毒性                 | : 知見なし |
| 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露)  | : 情報なし |
| 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露)  | : 情報なし |
| 誤えん有害性               | : 情報なし |

**12. 環境影響情報**

|           |        |
|-----------|--------|
| 生態毒性      | : 知見なし |
| 残留性・分解性   | : 知見なし |
| 生態蓄積性     | : 知見なし |
| 土壌中の移動性   | : 情報なし |
| オゾン層への有害性 | : 情報なし |

**13. 廃棄上の注意**

可燃物として焼却可能だが、法的基準を満たした焼却場にて焼却する。  
 焼却灰については、専門業者(許可を受けている処理業者)に依頼し処理する。  
 廃棄する場合は、専門業者に依頼し処理する。  
 廃棄方法については、廃棄上の注意を守り、原野、河川等に不法に投棄してはならない。

**14. 輸送上の注意**

危険有害性のない製品に分類され、安全上問題はないが、直射日光にさらされたり、水に濡れたりしないようにする。また、乱暴な取り扱いを避けること。  
 国内規制がある場合の規制情報 : 情報なし

**15. 適用法令**

|         |   |
|---------|---|
| 労働安全衛生法 | : 表示対象物質<br>(第57条、施工令第18条別表第9 No.191 酸化チタン(VI))   |
|         | : 通知対象物質<br>(第57条の2、施工令第18条別表第9 No.191 酸化チタン(VI)) |

**16. その他**

記載内容の取扱い : 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。  
 また、注意条項は通常の取り扱いの場合を対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。